

第48回 株主通信

株式会社 キムラタン

4 8 期の重点課題

ショップ 事業

- ・正価販売徹底
- ・商品消化率向上

卸 事業

- ・新商品開発
- ・新ブランド開発

収益構造
の改善

店舗粗利率

4.2% 改善

売上高

8.0% 増加

数年来 続いた「縮小均衡」から
「拡大基調」に転じました

48期 事業の経過と成果

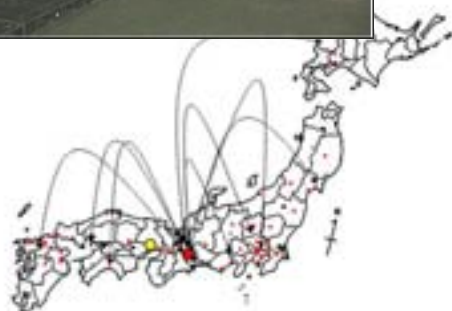
(単位:百万円)

	46期	47期	48期	百分比	前期比
売上高	4,972	4,180	4,429	100.0%	106.0%
売上総利益	2,217	2,051	2,119	47.8%	102.9%
販管費	2,654	2,038	2,055	46.4%	100.8%
営業利益	△ 436	13	55	1.2%	316.9%
経常利益	△ 555	△ 30	33	0.7%	-
当期純利益	△ 934	△ 74	2	0.0%	-

当期は拡大基調に転じ、19期ぶりに『当期利益黒字化』を達成することができました。

48期 事業の経過と成果（ショップ事業）

物流オペレーション



販売員教育・研修



**ショップ事業
収益構造の
確立**

既存店舗売上

1.3%増

店舗粗利率

4.2%改善

- ① 正価販売の徹底
- ② 在庫を残さないオペレーション
- ③ 販売員資格制度の推進

- ⇒ 値下率15%以内
- ⇒ 消化率90%以上
- ⇒ 販売員教育の強化

48期 事業の経過と成果（卸 事業）

バリュープライス企画



卸事業
新商品
開発投入

1社当たりの
取引高拡大
売上高
8.0%増

新ブランド マザーグース



- ① 価格訴求を強化した「バリュープライス企画」拡大
- ② 新ブランド「マザーグース」開発
- ③ 総合スーパーでは大幅に取引拡大

48期 事業の経過と成果 (NET事業)

楽天市場店のリニューアル

オンラインストアのPR強化



NET事業
客数増
正価販売強化



- ① サービス強化により
⇒購買客数増
- ② 楽天市場サイト一新
⇒購買率向上

客数拡大
4.8%増

売上拡大
8.0%増

- ① 正価販売強化により
⇒粗利率 改善
- ② PR企画充実により
⇒新規会員獲得増

48期 事業の経過と成果 (百貨店事業)

ファスショップ



百貨店型単独ブランドショップ

百貨店市場へ
の再上陸

キムラタンショップ



スーパー型ショップ

今期13店舗
オープン

- ① 百貨店ショップ
- ② 百貨店業態売上

13店舗新設オープン
1億84百万円

48期 事業の経過と成果

商品政策

百貨店再上陸
ブランド



ショップ利益率
改善ブランド



卸受注高
拡大ブランド



バリュープライス
企画



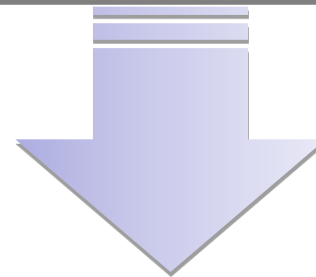
- ① 新ブランド投入
- ② 提案力の強化
- ③ 取扱い品目の拡大
- ④ バリュープライス企画による価格訴求強化

48期 事業の経過と成果 (海外事業)

実験販売店舗



海外事業



上海クールジャパンプロジェクト



アジア圏 卸販売



- ① 中国マーケットでの実験販売スタート
- ② アジア圏での卸販売スタート
- ③ クールジャパン(経済産業省主催) プロジェクト出展

48期 事業の経過と成果

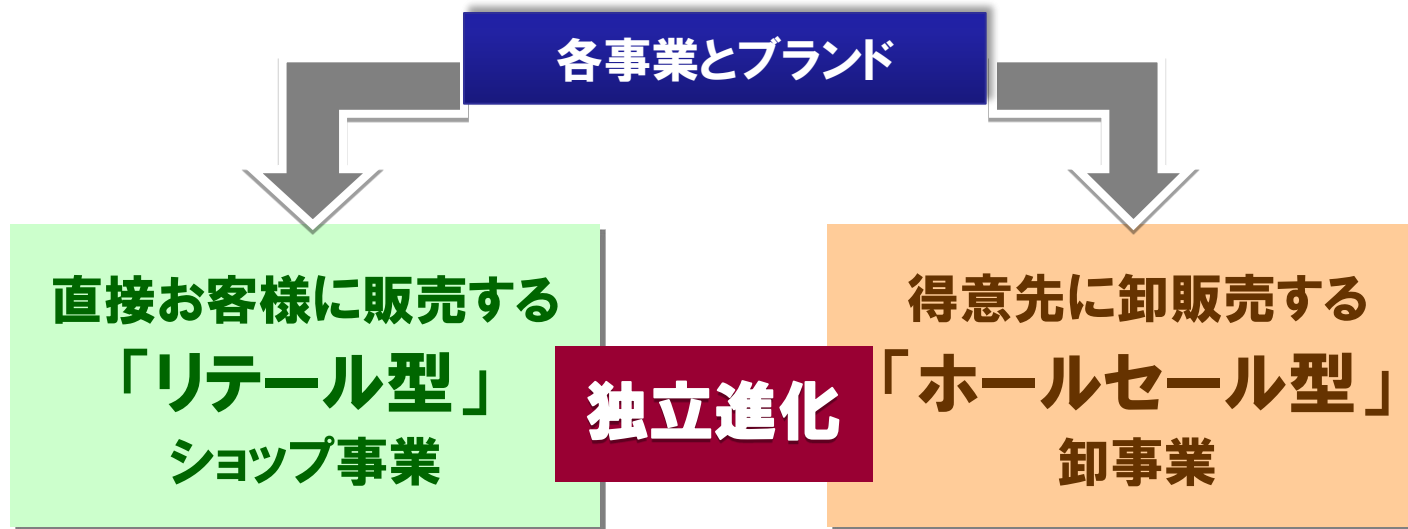
財政状況

(単位:百万円)

	前 期	4 8 期	増減
総 資 産	1,594	1,776	182
負 債	548	728	180
うち有利子負債	190	154	△ 36
純 資 産	1,046	1,048	2
自己資本比率	65.6%	59.0%	△6.6%

有利子負債を36百万円圧縮しました
期末自己資本比率は59.0%となりました
金融機関取組みスタート

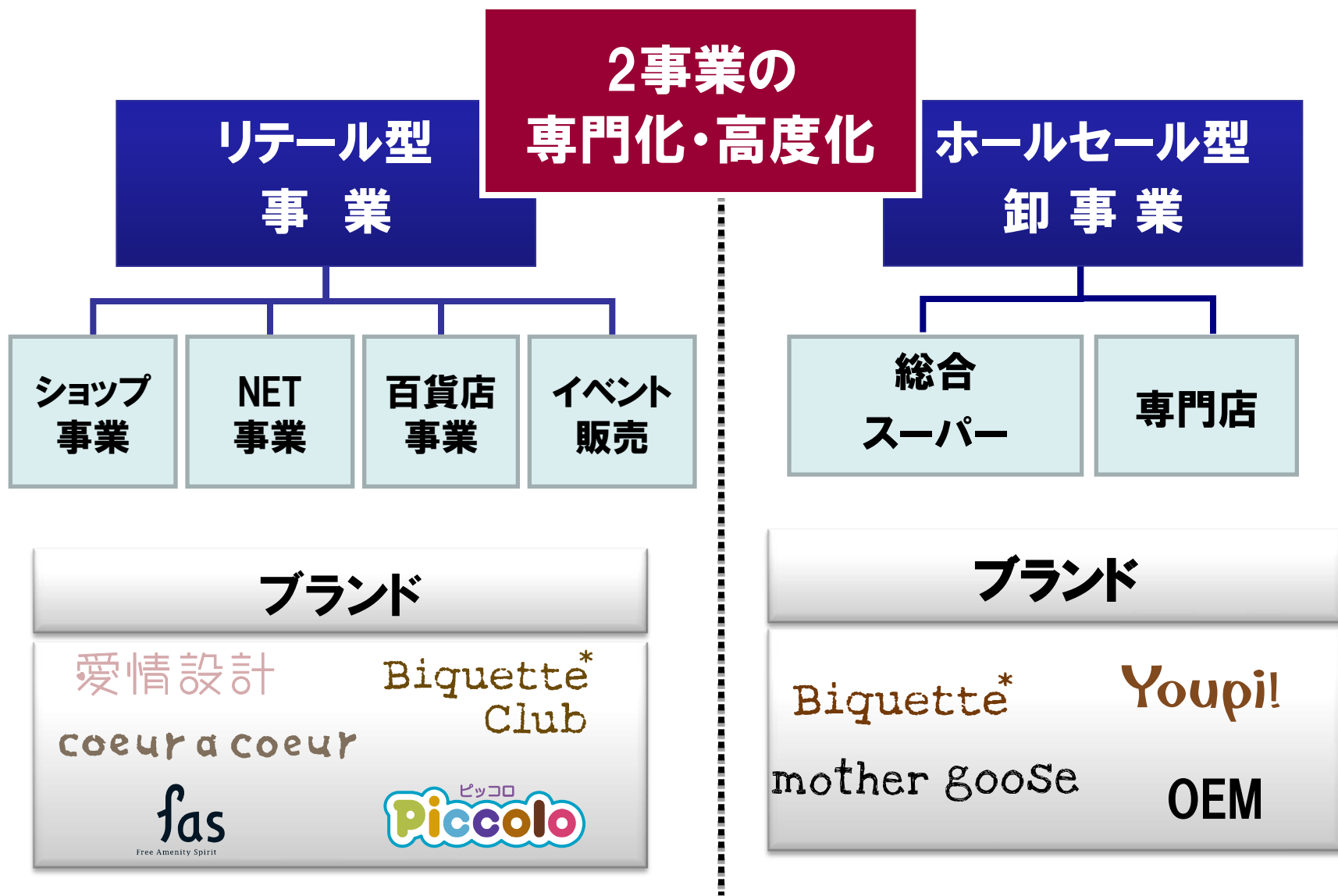
① 収益性の一層の向上



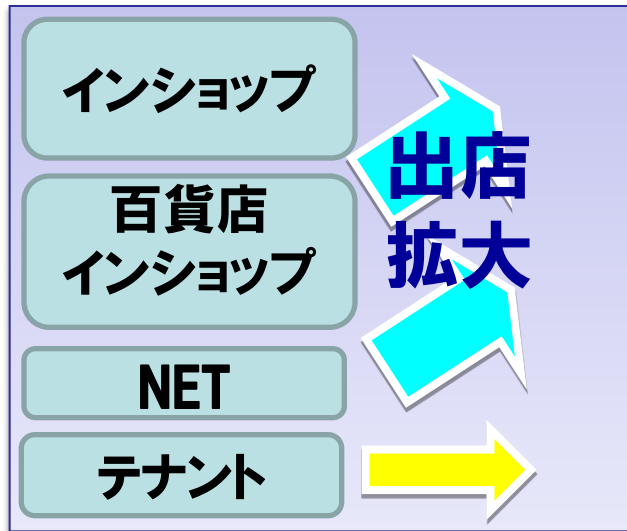
② 財務体質の改善

- ・ 手元流動性の向上
- ・ 収益率の向上

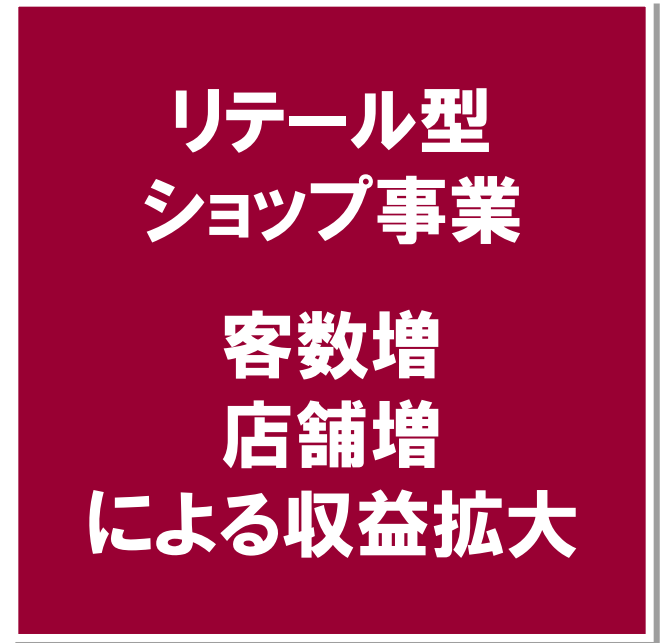
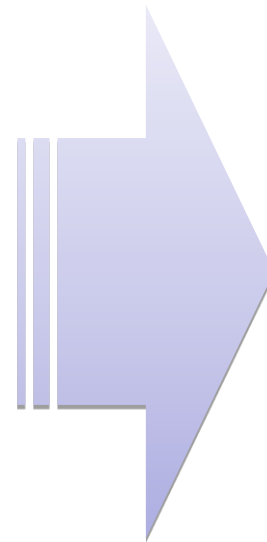
対処すべき課題 <収益性の向上>



対処すべき課題 <リテール型事業>



消費者が求める商品とサービス



対処すべき課題 <ホールセール型事業>

小売業支援

展示会WEB受注システム



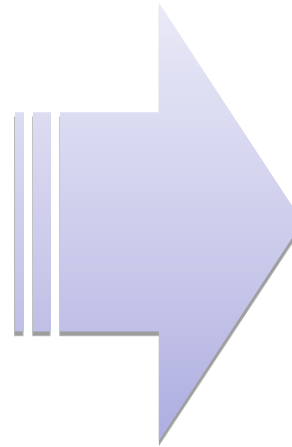
世界中どこからでも受注出来る

製品増強

ビケットに代表される強力商品群

価値 > 価格

新ブランド・新商品開発



ホールセール型 卸事業

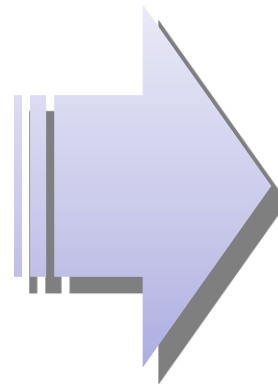
取引先数増
商品間口増
ローコスト化追求

対処すべき課題 <財務体質の改善>

●手元流動性の増加
金融機関取引拡大

収益性の向上
2事業の専門化・高度化

キャッシュ・フロー経営
・商品消化率向上
・在庫回転率向上
・資金回転期間の短縮



財務体質の改善

次期見通し

(単位:百万円)

	48期	49期	前期比 %
売上高	4,429	4,600	103.9%
営業利益	55	60	108.7%
経常利益	33	40	118.1%
当期純利益	2	20	725.8%

株主の皆様へ

事業成長による企業価値向上を経営上の最重点課題と考えるとともに、株主の皆様への利益還元を同様に最重要課題であると認識しております。

一日も早い皆様のご期待にお応えするために、当面は、成長の為の投資と財務体質の改善を目的とした内部留保を重視し、企業として力を蓄え、価値を向上することに努めることが、目下の当社最大の経営課題であると認識させていただいております。

何卒深いご理解と、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

株式に関するお手続き

商 号	株式会社キムラタン
事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
期 末 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	3月31日
中 間 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	大阪証券取引所
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL http://kimuratan.co.jp/ (但し、電子公告による公告をすることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、各種お手続き(株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他)につきまして、原則口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いきませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続き(株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他)につきましては、下記の弊社の特別口座の口座管理機関にお問合せください。なお、特別口座の口座管理機関の全国各支店にても御取次ぎいたします。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いきませんのでご注意ください。
- 平成23年6月25日より弊社の株主名簿管理人を三菱UFJ信託銀行に変更いたしました。
[「株主名簿管理人変更のお知らせ」\(電子公告へのリンク\)](#)

特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	日本証券代行株式会社
同 連 絡 先	日本証券代行株式会社 代理人部 〒137-8650 東京都中央区茅場一丁目2番4号 TEL 0120-707-843(通話料無料)